

目次

1. 教職課程ニュースレター第5号に寄せて
2. 教職フォーラムのご案内
3. 教職課程教育センター運営委員便り
4. 本学の教職課程について
5. 教員採用試験合格状況
6. 卒業生教員の声
7. 平成29年度教員免許状更新講習実施報告
8. 平成29年度教育実習について・教育実習生数
9. 教職研究紀要投稿のご案内
10. Web ページのご案内

教職課程ニュースレター第5号に寄せて

教職課程教育センター長

柴原 弘志

卒業生の皆様におかれましては、益々ご健勝にてご活躍のことと存じます。

「教職を志す母校後輩たちの姿に、かねての自分を重ね、懐かしき思いとともに、薄れかけていた情熱が再び湧き上がってくるような貴重な機会を提供いただきましたことに、心より感謝しています。後輩諸氏の今後の活躍とご指導・ご支援いただいています教職員の方々のご健勝並びに母校京都産業大学の今後益々の発展を心よりお祈り申し上げます。」

これは、昨年度の本学「教職フォーラム」に参加された卒業生からいただいたお便りの内容です。「教職フォーラム」では、昨年度より講演と卒業生からの報告に加え、全国で教員としてあるいは教育委員会事務局等で活躍されている卒業生の方々和在学生による懇談会を実施しています。卒業生・在学生からは、共に「貴重な情報共有の機会」「心和む場」「もっと時間があるとよい」といった感想を多数いただきました。卒業生諸氏におかれましては、公私ともにご多用な折とは存じますが、ご参加いただければ、在学生はもとより本学教職員一同幸甚に思うところでございます。

今年も、教職を志す4年次生等の多くが、卒業生諸氏が勤務されている学校等での「教育実習」さらには「教職実践演習」に取り組んでおります。一生徒の立場では気づいたり、見出したりできなかった生徒や教師の姿、あるいは教育上の課題等について考え、学んだことがしっかりとレポートにまとめられています。素晴らしい後輩教員のデビューを心待ちにしています。教職課程教育センターといたしましても、卒業生の皆様方と本学教職員・在学生の交流をより推進してまいりたいと考えています。卒業生の皆様方には、今後ともより一層のご支援ご協力賜りますことをお願い申し上げます。ご挨拶とさせていただきます。



教職フォーラムのご案内 ～在学生と卒業生との懇談会開催～

教職課程教育センターでは、学校教育の現状をテーマに「教職フォーラム」を以下の通り実施いたします。

昨年度は講演および卒業生からの報告に加え、全国で教員として活躍しておられる26名の卒業生の皆様と在学生の懇談会を開催し、学校教育の未来について語り合いました。加えて今年度は、卒業生対象の情報共有会も予定しております。ぜひご参加いただき、皆様のご経験や学校現場の状況等を在学生にお話しいただくとともに、卒業生同志の情報交換の場を提供できればと思っております。

◆日時：平成29年10月28日（土）13：25～16：30
（16：50～18：00 卒業生対象の情報共有会）

◆場所：本学5号館3階5303教室

◆開催規模：約400名

◆内容：

①講演 テーマ「寄り添い育てる自尊心」

（講演者：宮本 延春／作家・元高校教師）

②卒業生からの学校現場の状況報告

（報告者：油谷 昇／京都市立大淀中学校 教頭）

③懇談会

（現職教員の卒業生と在学生を少グループに分け懇談会を実施）

④情報共有会（卒業生対象）

（立食形式で自由に情報共有・情報交換をしていただきます）

◆申込方法：

必要事項をご記入いただき、10月5日（木）までに以下メールアドレスまでお申込みください。

▽必要事項：①ご氏名 ②卒業学部 ③ご勤務先・担当校種・教科 ④お電話番号 ⑤メールアドレス

▽メールアドレス：

kyoushoku-center@star.kyoto-su.ac.jp



経営学部

浦田 龍治 教授



平素より本学の教職課程に対してご支援とご協力を賜りましてありがとうございます。経営学部運営委員の浦田龍治と申します。

専門とする研究分野がマーケティングであるため、教職課程に関わる方々よりも企業の方々と関わる機会が多いものと思っておりました。ところが、たまたま数年前に高等学校の商業科に関連する教科書『商業325 広告と販売促進』実教出版、(2015)を執筆する機会をいただきました。生徒の皆さんがわかりやすいように文章を作るという作業を通じて、コンパクトな教科書だけでは十分に詰め込めないような内容が、実はたくさんあるのだと感じました。それにもかかわらず、本学学生たちは多くの科目を深く理解しているようなのです。

それは、現職の先生方がいかに多くの工夫をされて授業を進められているかの証左ではないか、そのように感じております。

運営委員としてお伺いした教育実習の巡回指導の際も、本学学生が現職の先生方のさまざまな工夫を間近に見て、自分なりに工夫することの大切さを感じているようでありました。このような学生の姿勢を見ていると、私自身が工夫しなければならないと反省いたしました。

大学教員として教職課程教育を支えるには、私自身まだまだ研鑽の必要があると認識しておりますが、微力ながら環境整備に貢献できればと考えております。

そうした活動のひとつとして、昨年2月に行われた京都地区大学教職課程協議会にも参加してまいりました。各大学が抱えるさまざまな課題について、少しでも解決できる方向になるよう議論ができればと思います。

最後になりましたが、皆様方の益々のご優勝とご活躍を願っております。

本学の教職課程について

現在の本学の教職課程の設置状況は右欄のとおりです。平成29年4月に新たに開設された現代社会学部については、現代社会学科に中学校教諭一種免(社会)、高等学校教諭一種免(公民)、健康スポーツ社会学科に中学校教諭一種免(保健体育)、高等学校教諭一種免(保健体育)の教職課程が認定されました。



※注1：ドイツ語・フランス語・中国語の免許状については、各言語を専攻している場合に限り取得可能です。

【本学で取得できる免許状の種類・教科】

学部	学科	中学校教諭一種免	高等学校教諭一種免
経済	経済	社会	地理歴史・公民・商業
	経営	社会	地理歴史・公民・商業
経営	ソーシャル・マネジメント	社会	地理歴史・公民
	会計ファイナンス	社会	公民・商業
	法	社会	地理歴史・公民
現代社会	法政策	社会	地理歴史・公民
	現代社会	社会	公民
外国語(注1)	健康スポーツ社会	保健体育	保健体育
	英語	英語	英語
	ヨーロッパ言語	英語・ドイツ語・フランス語	英語・ドイツ語・フランス語
	アジア言語	英語・中国語	英語・中国語
	国際関係	英語	英語
文化	京都文化	社会	地理歴史
	国際文化	英語	英語
理	数理科	数学	数学・情報
	物理科	数学・理科	数学・理科
	宇宙物理・気象	理科	理科
	コンピュータサイエンス	—	情報
	ネットワークメディア	—	情報
総合生命科	インテリジェントシステム	—	情報
	生命システム	理科	理科
	生命資源環境	理科	理科
	動物生命医科	理科	理科

教員採用試験合格状況

過去3年間の教員採用試験合格状況は次のとおりです。

区分	年度	2014(平成26)	2015(平成27)	2016(平成28)
既卒	公立学校正規教員	34	30	26
	公立学校正規教員 ()は公立学校受験者数	6 (58)	6 (51)	10 (71)
現役	公立学校期限付き教員	18	22	19
	私立学校教員(常勤・非常勤)	4	8	11
合計		62	66	66

※現役生には科目等履修生・大学院生を含む



卒業生教員の声

京都市立栗陵中学校 上畑 直久 教諭



「あなたは社会科を通じて、生徒に何を伝えますか？」
教育実習生を受け持つとき、私はいつもこう尋ねます。「歴史の面白さを伝えたい」「政治に関心をもたせたい」彼らは思い思いに社会科教師をめざす動機を教えてください。私は今年、社会科教師として20年目を迎えました。これまで15名の教育実習生を受け入れ、一昨年には京都産業大学の後輩も担当させていただきました。また、わかるだけでも4名が、小学校や中学校の教師として採用され、京都、大阪、奈良、東京で活躍しています。

ちなみに、私は社会科を通して何を伝えようとしてきたのか、それは「つながり」です。自然と人とのつながりは、風土に根ざした文化を育みます。その中で、人と人とのつながりが社会を形成し、歴史を重ねます。そして、私たちの未来につながる社会をつくるためには、互いを支え合うつながりが欠かせません。社会科を通じて、互いを支えるしくみを学ぶとともに、いざ課題に直面したとき、いっしょに解決してくれる仲間とのつながりをつくりあげてほしいと、日々の授業に取り組んでいます。

教職とは、社会の担い手を育む仕事です。そこで教職をめざすみなさんには、生徒と生徒、生徒と社会をつなぐためにはどうすればよいのか、考え学び続けていただきたいと思います。教科の指導法はもちろんのこと、道徳や特別活動、総合的な学習の時間など、生徒の学びがにつながり、より豊かなものになるよう見識を深めてください。最後に、今年も私は教育実習生を担当します。



川西市立多田中学校 富田 楓子 教諭



平成29年3月に外国語学部英米語学科を卒業し、4月から出身県でもある兵庫県で、教師となりました。現在中学校1年生の副担任で全6クラスの英語を担当しており、部活動は未経験の競技ですが、女子バレー部を指導しています。

夢である教師として働き始めてから数か月経ちましたが、毎日苦悩の連続です。40人のクラスであれば、40人別の指導方法があります。目の前の1人が成長するためには、どうしたら良いのか。正解のない答えを求め、周りの先生方に支えていただきながら、最善策を模索する日々です。

教師になり一番驚いたことは、子ども達の成長の速さです。彼らのエネルギー量の凄さに日々圧倒されています。仕事はとても大変ですが、生徒の成長する姿を見ると、それまでの疲れや苦労は吹き飛び、嬉しさに変わります。生徒の成長が、私の一番の原動力です。

多くの人が言っていることですが、学生の頃に様々な経験をするのはとても大切だと思います。勉強だけではなく、部活、サークル活動、ボランティア、アルバイトや旅行など、自分の成長に繋がるチャンスはたくさんあります。その経験を持っているかどうかで、教師として、人としての魅力の幅は大きく変わります。在学生の皆さんには是非、今ある時間を無駄にせず、様々なことに全力で取り組み、一生の財産を培ってほしいと思います。

教職はとても大変ですが、やりがいも大きい仕事です。夢や目標の実現のために頑張ってください。

平成29年度 教員免許状更新講習実施報告

教職課程認定を受けている大学としての社会的責任を果たすため、教育と研究の蓄積を活かした教員免許状更新講習を右欄の通り実施いたしました。

次年度も教員免許状更新講習を開講する予定です。ぜひともご活用ください。



《開講講座一覧》

講座名	開講日	参加人数
(必修) 教育の最新事情	平成29年7月29日 (土)	26
(選択必修) 道徳教育	平成29年7月30日 (日)	24
(選択) 平安京・京都研究の現在	平成29年8月7日 (月)	6
(選択) 社会学のエッセンス	平成29年8月8日 (火)	3
	計	59

平成 29 年度教育実習について

理学部物理科学科

大江 史子



私は、母校の中学校で3週間の教育実習をさせていただきました。授業では3年生の数学科を担当し、部活動では、剣道部の指導をさせていただきました。

3週間を振り返って大きく分けて2つのことを学ぶことができました。1つ目は「生徒との信頼関係を築く大切さ」です。実習校の先生方を見ていて、教育は一方通行では成り立たず、教師と生徒が互いに信頼することが大切だと思いました。それは、日々の挨拶や会話など何気ない関わりの中で、生徒をよく見ることで築かれていくのだと思いました。2つ目は「どの生徒も楽しく学ぶことができる授業づくりの難しさ」です。大学では学べなかったことをたくさん指導していただきました。例えば、小学校から高校の縦の範囲と学年で学ぶ横の範囲も考えて授業の事前準備や反省をすることが大切だと教えていただきました。また、他の先生方の授業を見学させていただいた中で、教育方法は一通りではなく、生徒たちによって変化させていかなければならないことを学びました。この3週間で実践的なことを多く学び、自分自身の課題も見発見することができました。

今では、生徒との信頼関係を築くことも、いい授業づくりをすることも決して別々のことではないことに気づくことができました。生徒から信頼されるのは、わかりやすい授業をしてくれる教師や、生徒が「自分を見てくれている」と感じさせてくれる教師なのだ実感しました。

○平成 29 年度教育実習生数

学部	教育実習生数 ()は昨年度数
経済	15 (19)
経営	16 (10)
法	16 (15)
外国語	18 (18)
文化	19 (13)
理	27 (45)
コンピュータ理工	3 (2)
総合生命科	10 (9)
合計	124 (131)

※科目等履修生を含む

教職研究紀要投稿のご案内

教職課程教育センターでは、学術の振興に寄与することを目的とし、毎年3月に『京都産業大学教職研究紀要』を刊行しております。

本学をご卒業された現職教員または教育関係にお勤めの皆様もご投稿いただくことが可能です。皆様からの積極的なご投稿をお待ちしております。

<投稿要領>

1. 投稿種別 実践記録
2. 原稿量 400字詰め原稿用紙50枚以内
3. 投稿内容
(1)原則、教職課程における教職および教科に関するもの
(2)未発表のもの
(3)図版や統計資料を掲載する場合は、指定の原稿枚数に含めること
4. 投稿方法
原則、Wordで作成し、記録媒体(CD-R等)を添えて、当該年度の11月末までに教職課程教育センターまで提出してください。(原稿には、邦文および英文のタイトルと要旨を添付すること。)

5. 特記事項
(1)本論集に掲載された実践記録の著作権は、京都産業大学に帰属する
(2)投稿には個人情報保護法および人権上の問題が生じないよう配慮のこと

※研究紀要のバックナンバーについては、本学の「学術リポジトリ」にて閲覧可能です。

<http://ksurep.kyoto-su.ac.jp/dspace/>

Web ページのご案内

教育分野でご活躍されている卒業生の皆様対象のWebページを開設しております。ぜひともご活用ください。

<http://www.kyoto-su.ac.jp/faculty/kyoshoku/index.html>

(主な発信内容)

・イベント情報 ・証明書の申請方法 ・教員免許状更新講習の案内 ・教職ネットワーク登録について ・教職研究紀要の投稿案内 等

<発行>

京都産業大学教職課程 News Letter 第5号

発行日：平成29(2017)年9月22日

編集発行：京都産業大学 教職課程教育センター

<お問い合わせ先>

京都産業大学 教職課程教育センター

〒603-8555 京都市北区上賀茂本山

TEL:075-705-1479 / FAX:075-705-1448

E-mail : kyoshoku-center@star.kyoto-su.ac.jp